



2025 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T O R I C O  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 安 藤 拓 郎  
(コード番号：7138 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 鯉 沼 充  
(TEL. 03-6261-4346)

### 資金使途の変更に関するお知らせ

2025年4月25日付「業務資本提携に関する契約の締結、並びに第三者割当による第9回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて公表していた資金使途について、2025年7月8日付「資金使途の変更に関するお知らせ」にて一部をビットコインの購入に充当する旨開示しておりましたが、以下のとおりイーサリアムの購入に充当することとなりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 資金使途変更の理由

当社は、2025年4月25日付の資金調達計画に基づき、第9回新株予約権より調達する資金の一部を、当初予定していたM&Aによる事業拡大から、急速に市場規模が拡大している暗号資産市場への投資へと方針を転換いたしました（2025年7月8日付開示）。これは、デジタル経済の進展に伴うブロックチェーン技術および暗号資産の普及が、新たなビジネス機会を創出する可能性を秘めていると判断したためです。2025年7月8日付の開示において、当該資金使途はビットコインの購入に充当することを予定しておりました。しかしながら、その後の市場環境の変化および当社の財務戦略を総合的に見直した結果、より多角的な収益機会の獲得と事業シナジー創出の追及の可能性を総合的に評価いたしました。

ビットコインが主に「価値の保存」や「デジタルゴールド」としての役割を担い、資産構成の多様化に貢献する一方で、イーサリアム（Ethereum）は、ステーキング等の運用による安定的なインカムゲイン（運用益）の獲得が期待できることに加え、その高い機能性から、将来的には当社既存事業における決済手段としての導入やサービス基盤としての活用など、実業面での多角的な展開可能性が極めて高いと判断し、主要な投資対象とすることにいたしました。

当社は、健全な財務基盤を維持しながら、第9回新株予約権より調達する資金をイーサリアムの取得に充てることで、新たな収益機会の創出および資産構成の多様化を進め、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

#### 2. 変更の内容

本資金使途の変更内容は以下のとおりとなります。（変更箇所は下線で示しております。）

##### （1）変更前の資金使途

| 具体的な使途 | 金額（百万円） | 支出予定時期 |
|--------|---------|--------|
|--------|---------|--------|

|                      |                   |                               |
|----------------------|-------------------|-------------------------------|
| ①アジア市場への本格展開に向けた戦略投資 | 297<br>(新株予約権付社債) | 2025 年 6 月～2028 年 5 月         |
| ②ビットコインの購入           | 298<br>(新株予約権)    | <u>2026 年 1 月～2027 年 12 月</u> |
| 合計                   | 595               |                               |

(2) 変更後の資金使途

| 具体的な使途               | 金額 (百万円)          | 支出予定時期                       |
|----------------------|-------------------|------------------------------|
| ①アジア市場への本格展開に向けた戦略投資 | 297<br>(新株予約権付社債) | 2025 年 6 月～2028 年 5 月        |
| ②イーサリアムの購入           | 298<br>(新株予約権)    | <u>2026 年 1 月～2026 年 3 月</u> |
| 合計                   | 595               |                              |

本資金使途の変更について、業務資本提携を締結しておりますグロースパートナーズ株式会社からも理解を得ており、今後の連携については、従前の M&A 候補の選定という枠組みに限らず、暗号資産を含む次世代戦略領域への知見を活かした協議・連携の継続を検討しております。

3. 変更が業績に与える影響

本資金使途の変更により新たに開始する暗号資産の取得および保有を含む財務運用活動に伴う今期業績への直接的な影響は軽微であると見込んでおりますが、将来的には財務戦略の柔軟性向上および企業価値の向上に資するものと判断しております。今後の運用状況や意思決定に重要な変化が生じた場合は、速やかに情報開示を行ってまいります。

4. 今後の見通し

当社は本資金使途の変更を通じて、次世代デジタル経済に対応した財務および事業戦略を推進し、中長期的な企業価値の最大化を図ってまいります。

以 上